

## 第 80 回目の GIS News! です

薫風の候、息づく生命の鼓動が感じられる爽やかな季節となりました。ゴールデンウィークも終わり、長期休み明けの本日、休みの気分を本ニュースで吹き飛ばして下さい。

今回は、皆さんになじみの深いテレビ番組から GIS に関する話題を取り上げたいと思います。



堂ノ前公園にて (H16.05.06)

### 「63億人の地図」から学ぶ

NHKスペシャルとして、世界の63億人の営みを映し出す新しい地図「いのちの地図」「富の地図」「安全の地図」「家族の地図」等々から、地球上に住んでいる人々の生活を分析し得られた結果から見える「発見」に、現場ルポをプラスし毎月1回放送している番組です。

『63億人の地図』 <http://www.nhk.or.jp/datamap/>

「GISとどういう関係があるの」と思われる方もいらっしゃると思います。GISは膨大な数値データを現在、過去、未来の地図に関連づけ管理・運用していく技術です。データの数字の羅列では分かりにくい内容も、地図と関連づけることで新たな「発見」があります。「63億人の地図」では、世界中から様々なデータを取り寄せ、地図データとその膨大な数値データの関連付けを行い解析しています。放送ではGISに関することは表立って話していませんが、目的の結果を得るための技術としてGISを利用しています。GISの本来の姿を映し出している一つの事例、また解析における一つの見本ととらえることができるのではないのでしょうか。

この放送で取り上げられたデータは、以下のホームページより、閲覧することが出来ます。

『63億人の地図』 - 『データマップ』のホームページへようこそ  
<http://gis.coe21.sfc.keio.ac.jp/>

どんな仕事でもそうですが、確固たる目的の上で仕事を行わないとうまくいかないのは言うまでもありません。GIS技術を利用する上でも全く同じで、目的に添った道具の選択、利用方法及びメンテナンスが非常に重要です。最終的に必要なのは結果です。ましてGIS導入による住民サービスの向上となれば、厳選された結果が道具から即座に取り出せるかが重要であると言えます。

### 次回の GIS News!

今回は、2004年5月24日発行予定です。よろしくお付き合いください!

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 清野 正道 発行日：2004年5月10日

